

しゅざんのうりよくけんてい きゅう し けんじゅけんしゃ  
珠算能力検定1・2・3級 試験受験者

小田原箱根商工会議所

- 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
- 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
- 受験するときに持参するもの。
  - 受験票
  - 筆記用具
  - そろばん
  - 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
- 答案記入上の注意
  - 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
  - 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
  - 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
  - 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

| そろばん面        | 答                          |
|--------------|----------------------------|
| 0.4595 ..... | 0.460 0.46                 |
| 5.2004 ..... | 5.200 5.2 (5.20 とは書かないこと。) |
  - 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 0.45 ..... | 0.45 .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。) |
| 5.2 .....  | 5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)      |
  - 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ￥9,528 ￥9,528. ￥9,528- 9,528

( ￥9,528.0 ￥9,528 ￥ ￥9,528 円 9,528 ￥ のような書き方はしないこと。)

〔注〕 答の頭には、円の記号(￥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
  - 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
  - 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
  - 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は( )で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
  - 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
  - コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。
- その他の注意
  - 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
  - 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
  - アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
  - 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付（手数料￥100）を受けて受験すること。
  - 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。
  - 電源が切れない携帯電話をお持ちの場合は、試験委員に預けること。

しゅざんのうりよくけんてい きゅう し けんじゅけんしゃ ちゅう い  
珠算能力検定4・5・6級試験受験者への注意

小田原箱根商工会議所

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
  - (1) 受験票
  - (2) 筆記用具
  - (3) そろばん
  - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
4. 答案記入上の注意
  - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
  - (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
  - (3) 名数の答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
  - (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
  - (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。  
(例)      1 2 3 , 4 5 6  
              ~~1 2 3 , 4 5 6~~
  - (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
  - (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。
5. その他の注意
  - (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
  - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
  - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
  - (4) 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付（手数料¥100）を受けて受験すること。
  - (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。
  - (6) 電源が切れない携帯電話をお持ちの場合は、試験委員に預けること。